

3. 重点課題に関する評価

〈テーマ一覧〉

坊	番号	テーマ名	ページ
現状分析			P.9
1. 地域経済活性化	(1)	工場誘致	P.10
	(2)	工業ゾーンの創出	
	(3)	奈良県版クラスター型産業集積の形成	P.11
	(4)	起業支援	P.12
	(5)	県産業振興総合センターによる県内産業への研究支援強化	P.13
	(6)	県産品の海外販路、国内販路の拡大	P.14
	(7)	商業振興・商店街活性化	P.15
	(8)	奈良県経済産業振興大綱の策定	P.16
現状分析			P.20
2. 働き方改革の推進と 就業支援	(9)	奈良県版働き方改革、職場環境改善、職業能力開発	P.21
	(10)	県内就業支援・離職者再就職支援	P.22
	(11)	障害者雇用対策の推進	P.23
	(12)	外国人労働者県内定着対策	P.24

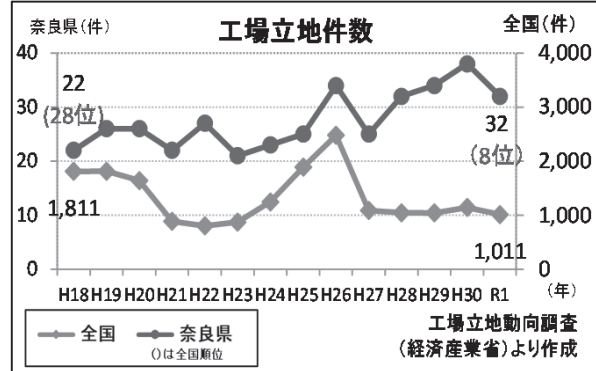
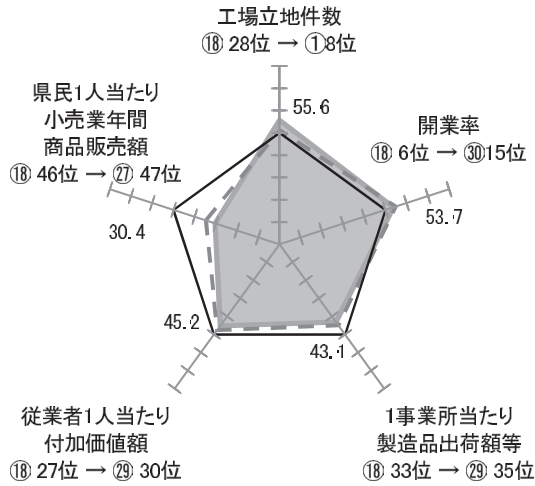
I 栄える「都」をつくる

1. 地域経済活性化

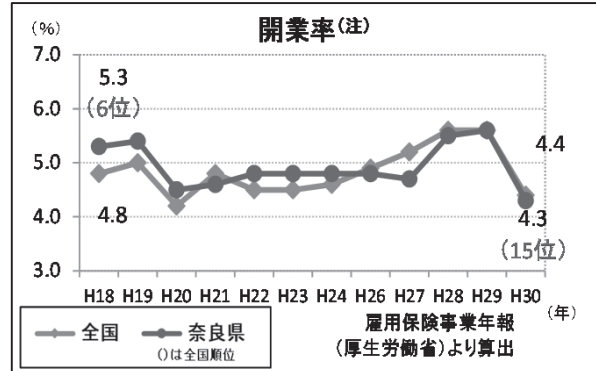
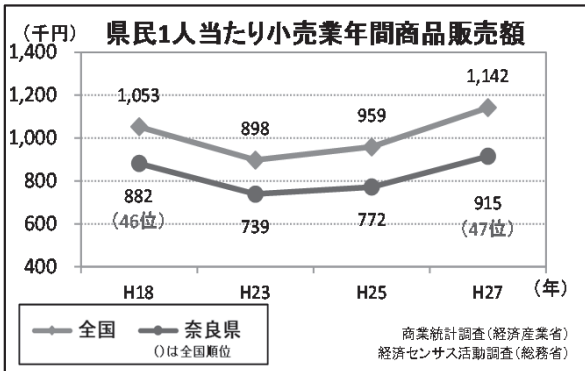
【担当部局】

産業・観光・雇用振興部

1. 現状分析

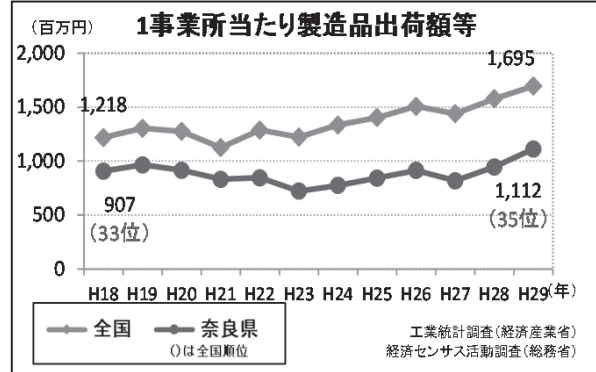
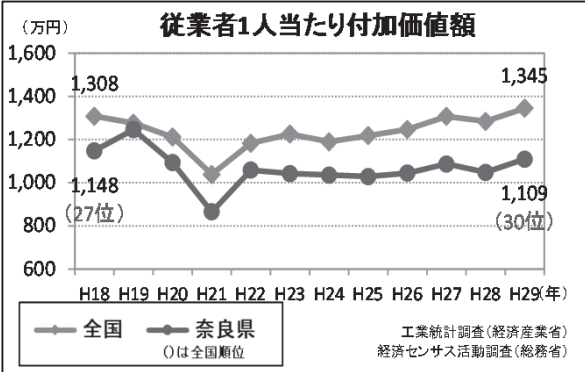


企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組により、令和元年の工場立地件数の全国順位は8位となっています。



平成27年の県民1人当たり小売業年間商品販売額は、平成25年と比べて約14万円増加しましたが、全国平均よりも低くなっています。

(注)開業率…対前年度事業所数に対する新たに設置された事業所の割合
平成30年度の開業率は4.3%と下がりましたが、全国的に低い傾向にあり、奈良県は全国平均とほぼ同じとなっています。



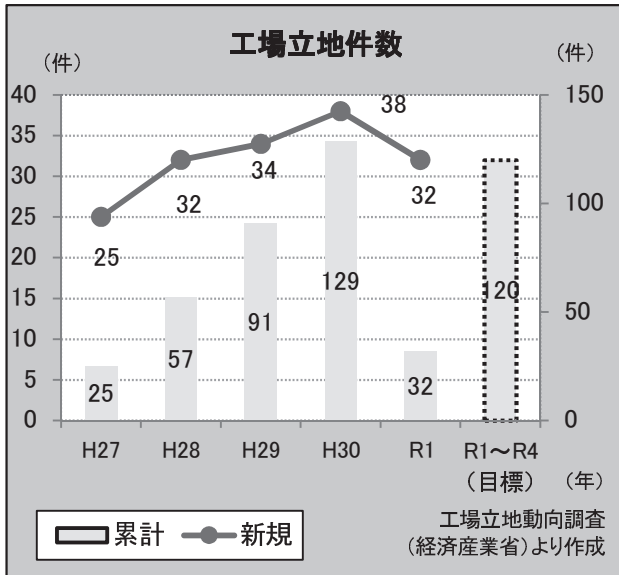
従業員1人当たり付加価値額は、平成21年に減少した後、増加したものの、全国水準まで回復していない状況です。

1事業所当たり製造品出荷額等は、平成24年以降増加傾向にあるものの、全国平均よりも低くなっています。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(1) 工場誘致 (2) 工業ゾーンの創出
目指す姿	令和元年から令和4年の4年間で120件の工場を新たに誘致します。

CC(チーフコーディネーター)
(1)、(2) 産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課長 今仲 進



指標	工場立地件数(件)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	129	32	26.7% ^(注)	120
	H27~H30の4年間	R1(2019)	$\frac{1}{4}$ 年目	R1~R4の4年間
奈良県の工場立地件数は、トップセミナーの実施等による積極的な誘致活動や支援制度の拡充により、令和元年は32件の誘致を実現しました。				

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
企業誘致により創出した雇用者数(人)	令和元年に立地した企業において、636人の雇用が創出されました。(令和2年3月末時点)	1,633	636	63.6% ^(注)	1,000
		H27~H30の4年間	R1(2019)	$\frac{1}{4}$ 年目	R1~R4の4年間

(注)目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標の動き

新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進			企業立地促進補助金等優遇制度の充実		
産業用地創出に取り組む市町村数(市町村)			企業立地補助金の活用件数(件)		
2	↗	6	5	↗	7
H25(2013)	3.0倍	R1(2019)	H25(2013)	40.0%	R1(2019)

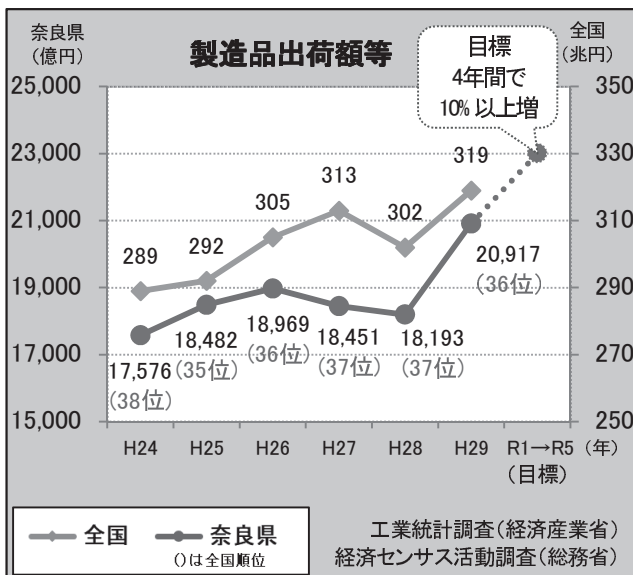
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

企業立地の潜在能力が高いと思われる京奈和自動車道や西名阪自動車道周辺の候補地について、事業手法の検討や概算事業費の算出等、産業用地創出の実現可能性調査を実施し、可能性を検討しました。

平成23年から令和元年において、知事によるトップセミナーを本社の集まる大都市圏である東京にて9回、大阪にて8回開催するなど、効率的・効果的な企業誘致活動を推進し、セミナー参加企業による県内立地が実現しました。

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成
目指す姿	主要産業の出荷額を大きく伸ばし、製造品出荷額等を4年間で10%以上増を目標にします。

CC(チーフコーディネーター)
(3) 産業・観光・雇用振興部 産業政策課長 福留 隆二



製造品出荷額等(億円)				
指標	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	17,576	20,917		10%以上増
	H24 (2012)	H29 (2017)		R1~R5 の4年間
進捗状況	これまで製造品出荷額等は伸び悩んでいましたが、近年の工場立地件数に勢いが出てきた結果、平成29年には、2兆917億円まで回復してきました。			

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値	
国内総生産(名目)に占める奈良県の県内総生産(名目)のシェア回復に向けて、各種地域経済活性化施策に取り組んでいます。	2008年のリーマンショックにより落ち込んだ県内総生産(名目)のシェア回復に向けて、各種地域経済活性化施策に取り組んでいます。	0.68	0.68	0.0%	0.72	
		H28 (2016)	0ポイント	H29 (2017)	$\frac{1}{8}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

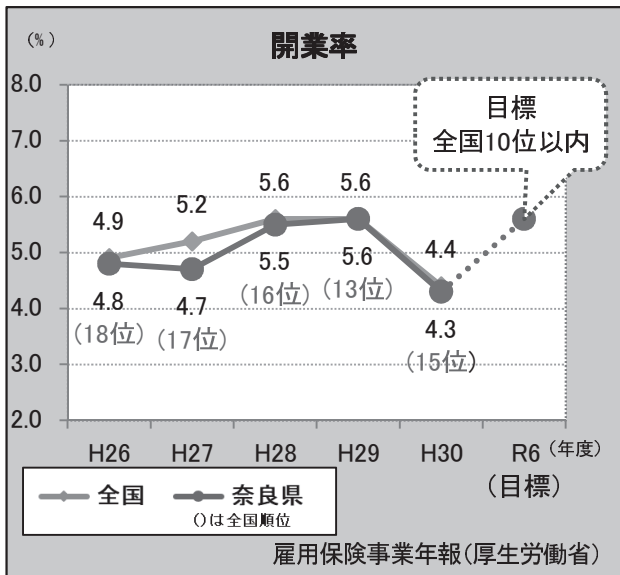
経済産業振興大綱の推進		
先進県ヒアリング実施回数(回)		
1	↗	2
H30 (2018)	2.0倍	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

県内産業のクラスター化の推進を図るため、経済産業振興大綱の策定に取り組むとともに、創業から事業承継までの経営支援、国内外への販路開拓による産業育成支援、漢方のメカ推進プロジェクトによる関連産業の育成、工場誘致の推進と工業ゾーンの創出等に取り組んでいます。

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(4) 起業支援
目指す姿	「小売業」、「飲食業」、「宿泊業」の起業を増やし、令和6年度までに開業率を10位以内にします。

CC(チーフコーディネーター)
(4) 産業・観光・雇用振興部 産業振興総合センター 創業・経営支援部長 城家 旬



指標	開業率 (%)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
進捗状況	4.8 (18位)	↗	4.3 (15位)	順位を3上げました	全国10位以内
	H26 (2014)	0.5 ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{10}$ 年目	R6 (2024)

平成30年度の開業率は全国的に低い傾向にありますが、奈良県ではビジネスコンテストやインキュベータ事業、制度融資創業支援金事業等、起業支援に取り組むことで、全国平均とほぼ同じ水準となっています。また、全国順位は15位と平成29年度から順位を2下げているですが、基準値からは順位を3上げています。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
制度融資創業支援金利用件数(件)	金融機関、関係団体には個別に説明会を開催するなど、周知に努めており、利用者数は順調に伸び、進捗率は85.6%になりました。	54	↗	179	85.6%	200
		H26 (2014)	125 件	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

起業支援金の補助			新たな企業・事業所の創出		
奈良県起業家支援事業の支援数(件)			ビジネスインキュベータの入居者数[累計](者)		
0	↗	3	40	↗	49
H30 (2018)	3 件	R1 (2019)	H26 (2014)	9 者	R1 (2019)

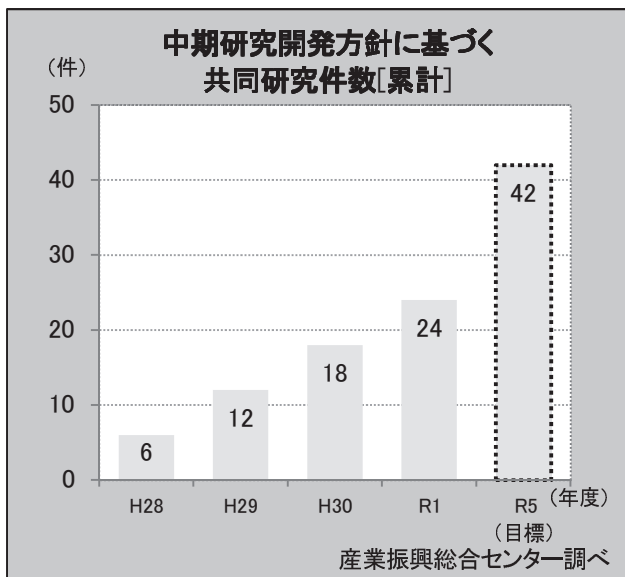
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

ビジネスインキュベータ^(注)の入居受付を、随時募集にするなど、申請に対する利便性を高めると共に、入居者には専門家による経営指導を行いました。

(注) ビジネスインキュベータ・創業間もない企業等に対し、不足するリソース(低賃料スペースやソフト支援サービス等)を提供し、その成長を促進させることを目的とした施設

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(5) 県産業振興総合センターによる県内産業への研究支援強化
目指す姿	令和5年度までに中期研究開発方針に基づく企業との共同研究件数(H28～累計)を42件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(5) 産業・観光・雇用振興部 産業振興総合センター 生活・産業技術研究部長 三木 靖浩



中期研究開発方針に基づく共同研究件数 [累計](件)					
指標	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	6 (方針策定)	↗	24	50.0%	42
進捗状況	H28 (2016)	18 件	R1 (2019)	$\frac{3}{7}$ 年目	R5 (2023)
	令和元年度は、プラスチック複合新材料の開発や機能性食品に関する研究等、中期研究開発方針に係る6件の共同研究を実施したため、実績値は24件となりました。進捗率は50%で、目標に向かって順調に進捗しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
産業振興総合センターが実施する受託・共同研究数[累計](件)	年度により件数の増減があるものの、令和元年度は新たに21件実施されたため、実績値は94件となり、順調に進捗しています。	25	↗	94	59.0%	142
		H28 (2016)	69 件	R1 (2019)	$\frac{3}{7}$ 年目	R5 (2023)

主な取組指標の動き

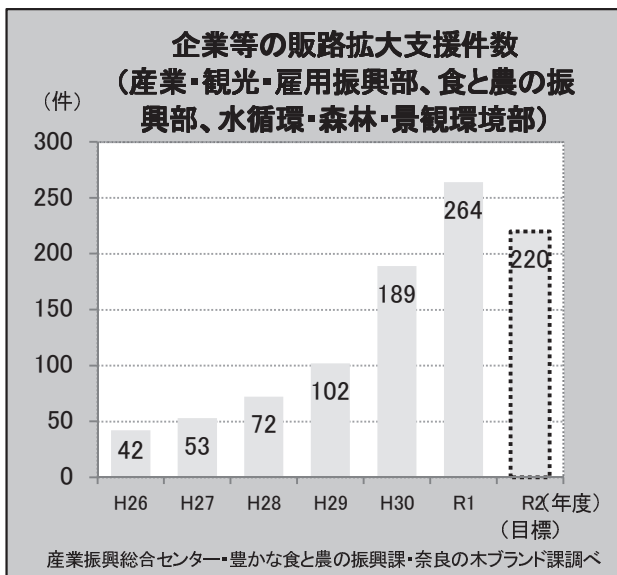
研究開発のための県制度融資による金融支援		
制度融資の利用企業数 [累計](件)		
3	↗	7
H30 (2018)	4 件	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

太陽光発電の効率化に向けたデバイス開発や葛の根などの地域資源を活用した食品開発、電磁環境に配慮した材料開発、靴下の機能性に関する研究など、中期研究開発方針に基づいた共同研究を進めています。

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大
目指す姿	令和2年度までに企業等の販路拡大支援件数を年間220件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(6) 産業・観光・雇用振興部 産業振興総合センター所長 大西 勇



指標	企業等の販路拡大支援件数(産業・観光・雇用振興部、食と農の振興部、水循環・森林・景観環境部)(件)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	42	↗	264	124.7%	220
	H26 (2014)	222 件	R1 (2019)	$\frac{5}{6}$ 年目	R2 (2020)
展示会出展及び商談会参加支援のほか、ジェトロ奈良事務所との連携や東京常駐職員による商談サポート等、海外及び首都圏における販路拡大支援を特に強化しており、令和元年度の実績値は264件と、令和2年度を前に、目標を達成することができました。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
東京都中央卸売市場における奈良県産青果の取扱金額(億円)	首都圏流通の要である東京都中央卸売市場大田市場での知事トップセールスをはじめ、県産農産物の広報活動等を展開することにより、着実に取扱金額が増加しています。	12.2	↗	13.2	35.7%	15.0
		H26 (2014)	1.0 億円	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

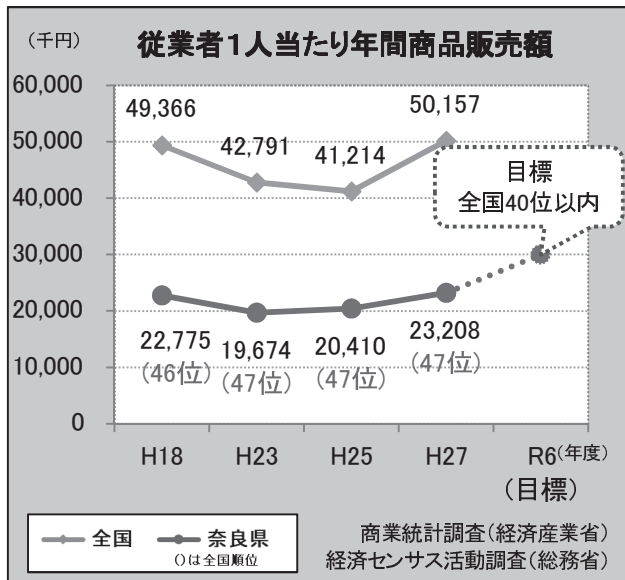
ジェトロ奈良貿易情報センターとの一層の連携			海外への販路拡大支援			首都圏等への販路拡大支援		
ジェトロ商談会、ミッション派遣支援者数(人)			海外プロモーション活動参加支援企業数(社)			首都圏販路拡大支援企業数(社)		
0	↗	77	5	↗	28	35	↗	38
H30 (2018)	77 人	R1 (2019)	H26 (2014)	5.6 倍	R1 (2019)	H26 (2014)	8.6 %	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

令和元年度より、新たに産業振興総合センターの職員1名が東京に常駐し、商談サポート業務等を実施することで、商談11件を成約につなげる成果がありました。

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(7) 商業振興・商店街活性化
目指す姿	令和6年度までに従業者1人当たり年間商品販売額を全国40位以内にします。

CC(チーフコーディネーター)
(7) 産業・観光・雇用振興部 産業振興総合センター 創業・経営支援部長 城家 旬



指標	従業員1人当たり年間商品販売額(千円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	22,775 (46位)	↗	23,208 (47位)	順位を1 下げました	全国 40位以内
	H18 (2006)	433 千円	H27 (2017)	$\frac{9}{18}$ 年目	R6 (2024)
平成27年度の全国順位は平成18年度に比べて1つ下がっているものの、従業員1人当たり年間商品販売額については平成23年度以降上昇傾向にあります。目標達成に向け、令和元年度は、製造事業者の自社ブランド創出支援、商業に関する勉強会の開催、駅前の商店街の活性化に取り組み、新規顧客獲得に繋がる等の成果がありました。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
県民1人当たり小売業年間商品販売額(千円)	平成27年の全国順位は平成18年度に比べて1つ下がっているものの、金額は上昇しています。	882 (46位)	↗	915 (47位)	順位を1 下げました	全国40 位以内
売場面積1㎡当たり小売業年間商品販売額(千円)	県内年間商品販売額はほぼ横ばいとなっていますが、売場面積の減少により1㎡当たりの販売額が上昇しています。	789	↗	884	59.0%	950
		H18 (2006)	33 千円	H27 (2015)	$\frac{9}{18}$ 年目	R6 (2024)
		H18 (2006)	95 千円	H27 (2015)	$\frac{9}{18}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

マーチャндаイジング ^(注) 勉強会等の開催	駅前商店街空き店舗活用	
勉強会参加延人数(人)	空き店舗利用延箇所数 [累計](件)	
225	↘	197
H26 (2014)	12.4 %	R1 (2019)
9	↗	24
H29 (2017)	15 件	R1 (2019)

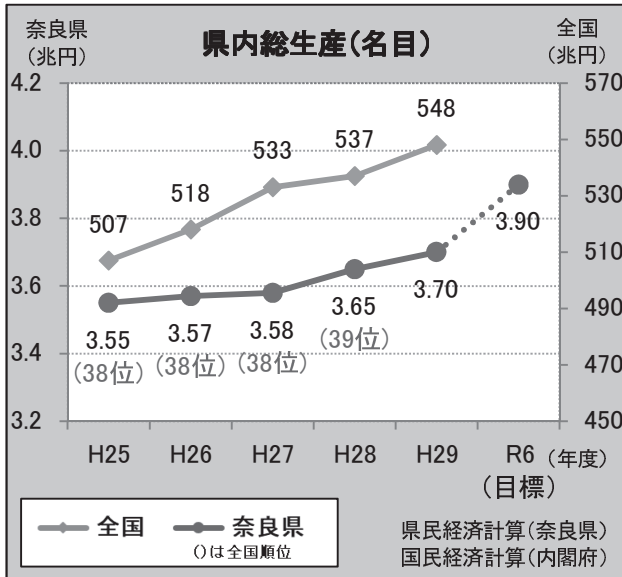
(注) マーチャндаイジング…自社の商品やサービスを消費者に販売するにあたり、その販売方法や価格設定を戦略的に設定するための活動や計画、管理のこと。

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

商店街の空き店舗を流動化させるための駅前商店街空き店舗を活用した取組や、県内製造事業者が下請からの脱却を図るために自社ブランドを創出する取組の支援を継続して行っています。

坊	1. 地域経済活性化
テーマ	(8) 奈良県経済産業振興大綱の策定
目指す姿	令和6年度までに県内総生産(名目)を3兆9,000億円にします。

CC(チーフコーディネーター)
(8) 産業・観光・雇用振興部 産業政策課長 福留 隆二



指標	県内総生産(名目)(兆円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	3.55	↗	3.70	42.9%	3.90
	H25 (2013)	0.15 兆円	H29 (2017)	$\frac{4}{11}$ 年目	R6 (2024)
地域経済活性化に取り組んだことで、投資(工場立地)、雇用(有効求人倍率)、生産(域内経済成長率)に高い動きが見られており、近年の県内総生産(名目)においても、上昇傾向にあります。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
国内総生産(名目)に占める奈良県の県内総生産(名目)(%)	2008年のリーマンショックにより落ち込んだ県内総生産(名目)のシェア回復に向けて、各種地域経済活性化施策に取り組んでいます。	0.68	→	0.68	0.0%	0.72
		H28 (2016)	0 ポイント	H29 (2017)	$\frac{1}{8}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

経済産業振興大綱の推進		
先進県ヒアリング実施回数(回)		
1	↗	2
H30 (2018)	2.0 倍	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

産業振興に関する勉強会の開催や目指すべき産業像の構築の検討を開始するとともに、経済産業振興大綱の策定に向けて、本県経済の動向把握に取り組みました。

3. 次年度に向けた課題の明確化

1. 地域経済活性化

- (1) 工場誘致
- (2) 工業ゾーンの創出
- (3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成
- (4) 起業支援
- (5) 県産業振興総合センターによる県内産業への研究支援強化
- (6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大
- (7) 商業振興・商店街活性化
- (8) 奈良県経済産業振興大綱の策定

<奈良県の持っている強み>

- 1 東大阪市、八尾市等大阪北東部の工場集積地域に近い
- 2 企業立地促進補助金等の優遇制度の充実
- 3 地域の需要等を捉え適時に自由な発想による対応が可能で、独自の商品・サービスを有する小規模企業が多い
- 4 高い技術を備えたニッチトップ企業の存在
- 5 地場の特色を活かした製造業(食料品、繊維、プラスチック等)の存在
- 6 本県由来の生薬があり、漢方・生薬製剤について文化的・歴史的に関わりが深い
- 7 歴史的資源や自然景観等の観光資源が豊富

<奈良県の抱えている弱み>

- 8 大規模立地を可能とするまとまった工業用地や企業ニーズの高い地域(平野部のIC付近)での工業用地がほとんどない
- 9 産学官及び行政間における情報共有等が不十分
- 10 下請け企業が多いことから、マーケティング力が弱く、自社ブランドや独自の販路を持つ企業が少ない
- 11 海外や首都圏の市場に目を向ける企業が少ない傾向にあり、域際収支(移輸出額-移輸入額)はマイナスとなっている
- 12 県内の開業率は、全国平均と同程度になったものの、依然県内起業数は十分とはいえない
- 13 研究開発に投資できる資源(資金、人材等)が少ない

<奈良県への追い風>

- a 大企業を中心とした景気回復傾向
- b 地域ブランド・地域産品、地域社会ニーズに対する関心の高まり
- c 国における開業率向上の目標設定及び創業支援対策の充実
- d 奈良盆地を南北に縦断する京奈和自動車の開通により、東西の名阪国道や南阪奈道路とのネットワークが充実、今後、京奈和自動車の全線開通により、更なる交通利便性の向上が可能となる
- e 多様な経済活動拠点の地方分散による地域経済活性化を目指した地方拠点強化税制の整備等、国による企業立地支援施策の拡充
- f 地域の特色を活かした製品開発への関心の高まり
- g 国による「新しい生活様式」の推進

<奈良県への向かい風>

- h 人口減少による国内需要の減少
- i 首都圏への人口集中
- j 研究や製品開発におけるホーダレスな競争の激化
- k 新型コロナウイルスの感染拡大による消費低迷

<<強みで追い風を活かす課題>>

- [重要課題] 支援制度等を活用しつつ、対象を絞った効果的な企業立地促進施策・活動を実施(1,2,d,e)
- ・地域のニーズに即した共同研究の推進(3,4,f)
- ・企業の新商品・新サービスの開発支援の強化(5,7,b)
- ・奈良の文化的・歴史的な資源を活用した漢方プロジェクトの推進(6,7,b)
- ・リーディング分野・チャレンジ分野における産業の育成(5,b,c)

<<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>>

- [重要課題] 立地ニーズの高い地域における工場用地の確保、都市計画見直しにより創出した工業系用途地域等による用地不足への対応(8,a,d,e)
- [重要課題] 首都圏・海外への販路開拓の強化(10,11,b,g)
- [重要課題] OEM、下請けから自社ブランド・高付加価値化への経営体質の転換(10,b,f)
- ・地域における産学官連携の推進や技術人材育成への支援、集積企業間の連携等、企業にとって奈良に立地し操業を続ける魅力を向上(9,13,f)
- ・用地情報の収集力向上のため、幅広い情報収集活動の展開(8,9,d)

<<強みで向かい風を克服する課題>>

- [重要課題] 大都市への良好な道路アクセスや通勤の利便さを活かした県外企業拠点の誘致と県内拠点の機能強化(1,2,i)
- [重要課題] 小規模企業の成長発展促進施策の強化(3,k)
- ・研究開発の選択と集中(4,5,j)

<<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>>

- ・研究に係る補助や融資の推進(13,j)
- [重要課題] 経営資源の有効活用による経営の効率化(10,11,k)
- [重要課題] 中小企業の事業継承支援(10,h,k)
- ・他地域に比べアクセス及び雇用確保に有利な地域の産業用地の確保(8,12,i)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
支援制度等を活用しつつ、対象を絞った効果的な企業立地促進施策・活動を実施(テーマ(1))	工場進出の勢いを止めないように、令和元年から令和4年の4年間で120件の企業立地を目標に、立地セミナー等による戦略的な企業誘致活動を展開し、独自技術を有する競争力の高いニッチトップ企業の誘致を積極的に行います。
弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
立地ニーズの高い地域における工場用地の確保、都市計画見直しにより創出した工業系用途地域等による用地不足への対応(テーマ(2))	工場進出の勢いが未だ続いている一方、県内の工場用地が不足しているため、御所IC周辺や京奈和自動車道、西名阪自動車道・名阪国道周辺等における工業ゾーン創出を目指し、市町村と協働するために組成した協議体も活用しながら、課題解決やスキームの確立を図っていきます。
首都圏・海外への販路開拓の強化(テーマ(6))	「新しい生活様式」等の新たな商機を取り込むため、新奈良まほろば館を活用したテストマーケティングを行うなど、販路開拓支援を強化します。また、平成30年11月に開設した日本貿易振興機構(ジェトロ)奈良貿易センターと連携して引き続き海外展開支援体制の強化を図るとともに、ハンズオン支援を実施し、更なる企業の販路拡大を目指します。さらに、オンラインを活用した商談機会の創出等に取り組みます。
OEM、下請けから自社ブランド・高付加価値への経営体質の転換(テーマ(6)、(7))	東京銀座の百貨店での常設店開業へと繋がった取組であるブランディングの手法を用い、自らの顧客(ファン)を増やしていく仕組み(プラットフォーム)を発展し県内企業のSPA(製造小売)業態への挑戦を推進していきます。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
大都市への良好な道路アクセスや通勤の便利さを活かした県外企業拠点の誘致と県内拠点の機能強化(テーマ(1))	これまで不十分であった高規格道路網が近年充実してきました。これを追い風にして、企業立地促進補助金等の支援メニューの充実により、県外からの本社機能移転や、県内拠点の機能強化を促進します。
小規模企業の成長発展促進施策の強化(テーマ(3))	経営向上に向けて日々努力を続ける小規模企業の活力が最大限発揮されるよう、商工会議所や「よろず支援拠点」等の関係機関と連携して、環境整備を図ってきました。これからも小規模企業振興基本条例に基づき、小さくても強い企業・小さくても永く続く企業の振興を推進していきます。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
経営資源の有効活用による経営の効率化(テーマ(6))	これまで「よろず支援拠点」との連携を深め、経営改善や経営の効率化等の相談機能を充実させてきました。今後、消費低迷や「新しい生活様式」によってビジネスモデルに変化を迫られる中小企業等を厚く支援するため、従来の連携をさらに強化するとともに、奈良県経営まるごとネットワークも活用し、官民協働での課題解決に取り組みます。
中小企業の事業承継支援(テーマ(3))	公益財団法人奈良県地域産業振興センターと連携し、平成30年度に奈良県事業承継ネットワークを構築しました。これからはネットワーク参画機関の支援スキルの向上を図り、後継者確保対策を必要とする中小企業に対し、より踏み込んだ承継支援を実施します。

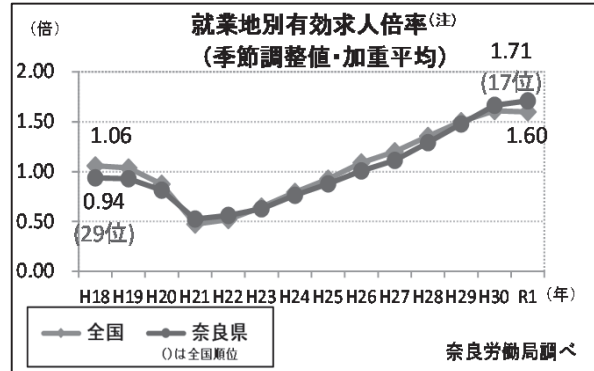
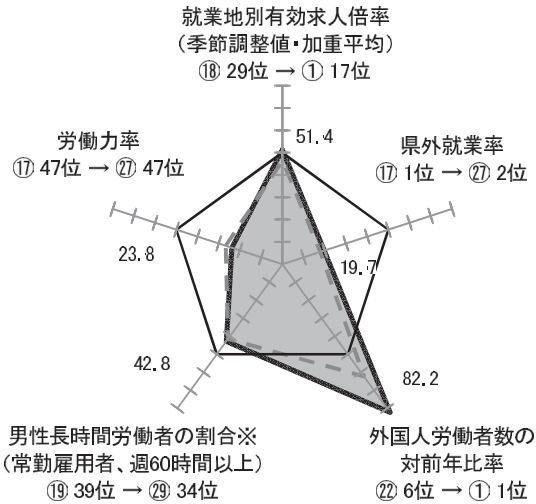
I 栄える「都」をつくる

2. 働き方改革の推進と就業支援

【担当部局】

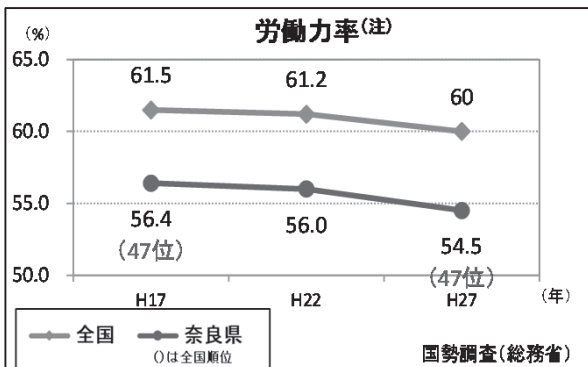
福祉医療部、産業・観光・雇用振興部

1. 現状分析



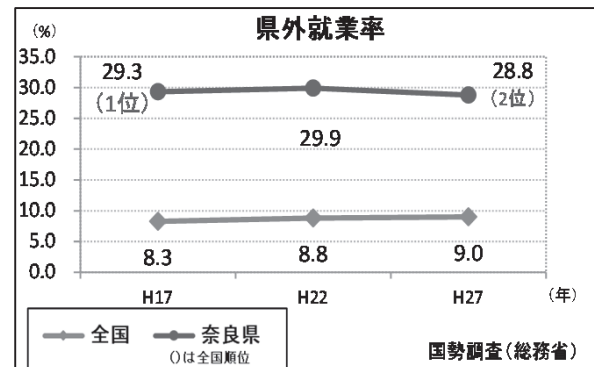
(注)就業地別有効求人倍率…求人票に記載されている実際の就業地別の求人数を用いた有効求人倍率

令和元年の就業地別有効求人倍率は1.71倍で、平成18年以降の最高値を更新しました。

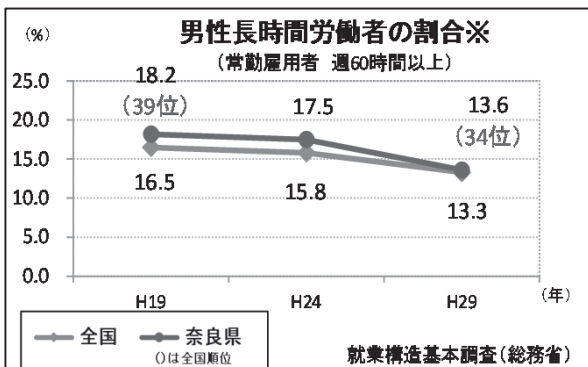


(注)労働力率…15歳以上人口のうち、働いている人と完全失業者の人数を15歳以上人口で割った値

平成27年の労働力率は全国最下位で、全国と比べると5.5ポイント低く、全国との差は徐々に大きくなっています。

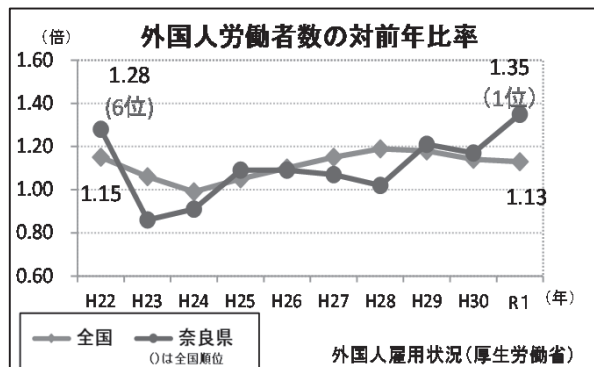


平成27年の県外就業率は28.8%で、全国順位はこれまでの第1位から第2位になりました。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

平成29年の男性長時間労働者の割合(常勤雇用者、週60時間以上)は、平成19年と比べて4.6ポイント低下し、全国平均とほぼ同水準となりました。

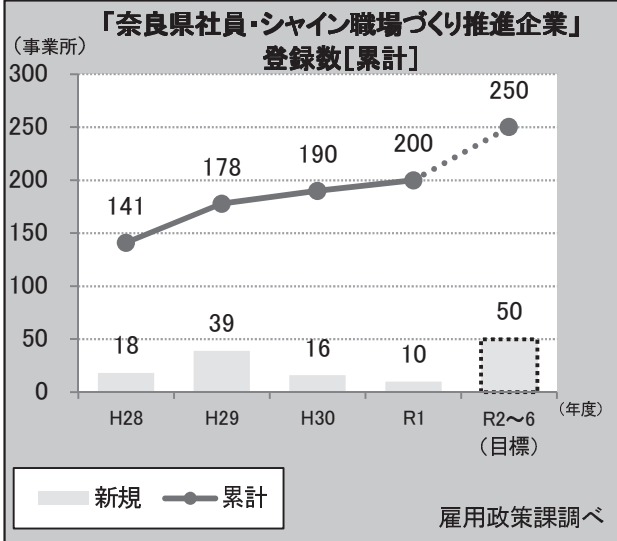


令和元年の外国人労働者数の対前年比率は1.35倍で全国1位の伸び率となりました。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	2. 働き方改革の推進と就業支援
テーマ	(9) 奈良県版働き方改革、職場環境改善、職業能力開発
目指す姿	令和6年度までに奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録数を250事業所にします。

CC(チーフコーディネーター)
(9) 産業・観光・雇用振興部 雇用政策課長 山中 淳史



指標	「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」登録数[累計](事業所)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	141	↗	200	54.1%	250
進捗状況	H28 (2016)	59 事業所	R1 (2019)	$\frac{3}{8}$ 年目	R6 (2024)
	奈良労働局、奈良県社会保険労務士会と連携してセミナーや説明会において、「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の普及活動に努めたことにより、令和元年度の登録企業数は平成30年度から10企業増加し200企業となりました。進捗率は54.1%となり、順調に進捗しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
育児休業給付金支給事業所数[累計](事業所)	県内で実施される各種セミナーや説明会において、事業周知を行ったことにより、令和元年度は新たに4事業所に支給を行った結果、実績値は74事業所、進捗率は70.6%となりました。	26	↗	74	70.6%	94
		H26 (2014)	48 事業所	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

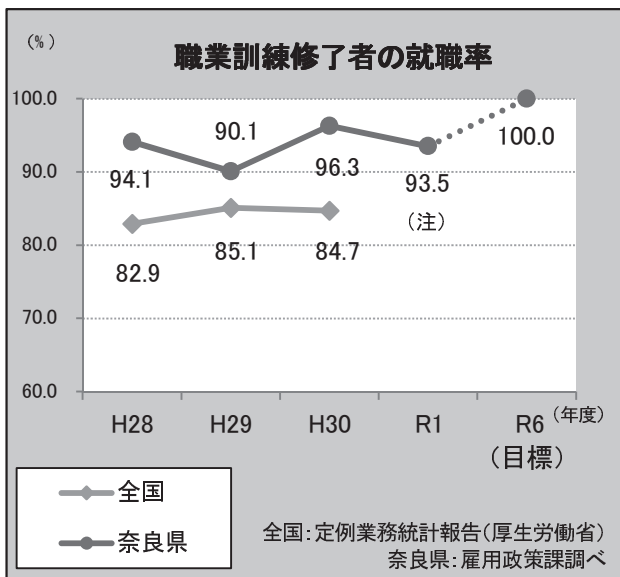
社員・シャイン職場づくりの推進			県内事業所における働き方改革の取組支援		
奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業表彰[累計](事業所)			専門家派遣によるコンサルティング実施[累計](事業所)		
24	↗	45	11	↗	31
H25 (2013)	21 事業所	R1 (2019)	H29 (2017)	20 事業所	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

経営課題としての働き方改革の意義や必要性について、経営者の意識改革を推進するためのセミナーを開催しました。また、実情に即した課題解決の支援のため社会保険労務士等の専門家を10社に派遣するとともに職場内のキーパーソンを育成するためのワークショップを3回開催しました。この結果、奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録数は200事業所となり、目標に向かって順調に増加しています。

坊	2. 働き方改革の推進と就業支援
テーマ	(10) 県内就業支援・離職者再就職支援
目指す姿	令和6年度までに職業訓練修了者の就職率を100%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(10) 産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室長 山中 淳史



指標	職業訓練修了者の就職率(%)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	94.1	93.5	▲10.2%	100
進捗状況	H28 (2016)	R1 (2019)	3/8 年目	R6 (2024)
	0.6 ポイント			
高等技術専門校に就業支援員等を配置し、一人一人に合った就職支援・起業支援・職場定着支援を実施することにより、実績値は93.5%となりました。引き続き、目標値目指して就職支援を行います。				

(注) 令和元年度の全国値は未公表

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
高等技術専門校定員充足率(%)	ハローワークや学校関係者等と連携し定員充足率を上げると共に、校内見学を開催するなど効果的なPRを実施したことにより、基準値より1.7ポイント増加しました。	79.4%	81.1%	8.3%	100%
		H28 (2016)	R2 (2020)	4/8 年目	R6 (2024)
		1.7 ポイント			

主な取組指標の動き

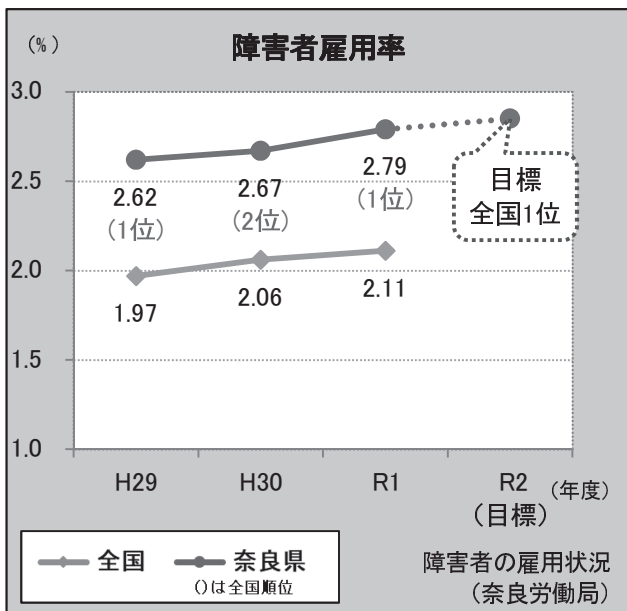
離職者の特性に応じた個別の支援			高校生と県内企業との接点強化			高校生と県内企業との接点強化		
若年無業者の職場実習参加後の就職者数(人)			高校生等就職支援会議参加企業数(社)			高校生の県内企業就職内定率(%)		
7	↗	11	60	↗	84	95.1	↗	97.5
H30 (2018)	57.1 %	R1 (2019)	H27 (2015)	40 %	R1 (2019)	H27 (2015)	2.4 ポイント	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

高度な専門技術を持つ人材確保を進めるため、県内就労あっせん・起業支援センターにおける奈良工業高等専門学校・奈良女子大学・奈良県立大学と連携した卒業生への案内や県内外のハローワーク利用者への案内等を引き続き行いました。

坊	2. 働き方改革の推進と就業支援
テーマ	(11) 障害者雇用対策の推進
目指す姿	令和2年以降も障害者雇用率を全国第1位にします。

CC(チーフコーディネーター)
(11) 福祉医療部 障害福祉課長 東川 富成



指標	障害者雇用率の全国順位(位)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	2.62 (1位)	↗	2.79 (1位)	全国1位となりました	全国1位
	H29 (2017)	0.17 ポイント	R1 (2019)	$\frac{2}{3}$ 年目	R2 (2020)
<p>障害者政策推進トップフォーラムや意見交換会等の開催を通じて、障害者雇用についての問題意識を共有し、官民が一体となって障害者の雇用に取り組みました。また、就労連携コーディネーターと障害者就業・生活支援センター、特別支援学校等との連携により、職場開拓や職場実習を進めるとともに、職場定着の取組を強化しました。その結果、令和元年度の障害者雇用率は平成29年度から0.17ポイント増加し全国1位となり、再び目標を達成しました。</p>					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
障害者就業・生活支援センター事業登録者の就職率(%)	支援へのニーズが大きいため、センターの登録者の増加に対し、就職者の増加が追いつかず実績値は基準値から2.66ポイント減少しました。	9.00	↘	6.34	▲88.7%	12
		H30 (2018)	2.66 ポイント	R1 (2019)	$\frac{1}{6}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

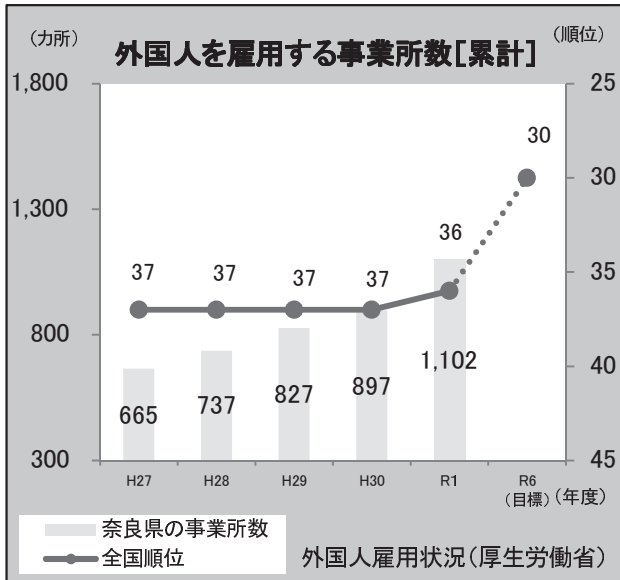
「障害者はたらく応援団なら」の運営による雇用の促進		
障害者はたらく応援団なら登録件数[累計](社)		
49	↗	52
H30 (2018)	3 社	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

平成30年度に就職した者を中心に企業訪問等を行い、定着に向けた支援を実施しました。問題を把握した場合は、障害者就業・生活支援センターと特別支援学校と連携し、早期対応することで雇用の定着に繋がりました。

坊	2. 働き方改革の推進と就業支援
テーマ	(12) 外国人労働者県内定着対策
目指す姿	令和6年度までに外国人を雇用する事業所数の全国順位30位を目指します。

CC(チーフコーディネーター)
(12) 産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室長 山中 淳史



指標	外国人を雇用する事業所数[累計](カ所)			
	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値
進捗状況	665 (37位)	1,102 (36位)	順位を1上げました	全国 30位
	H27 (2015) 437 カ所	R1 (2019)	4/9 年目	R6 (2024)
外国人を雇用する事業所数が、全国的に増加する中、本県の外国人雇用事業所数も増加傾向にあり、令和元年度の実績値は1,102カ所で、平成30年度から順位を1上げて全国順位は36位になりました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	目標値
外国人労働者数(専門的技術分野の在留資格)(人)	県内事業所で働く高度外国人材を増やしていくため、令和2年度より高度外国人材の県内就労促進に向けた取組を実施していきます。	1,115	1,826
		R1 (2019)	R3 (2021)

主な取組指標の動き

外国人介護人材の確保			高度外国人材の県内就職促進		
外国人留学生修学支援資金貸与制度を活用する法人[累計](社)			県内で働く外国人労働者数(人)		
0	↗	1	2,233	↗	5,563
H30 (2018)	1 社	R1 (2019)	H21 (2009)	2.5 倍	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

高度外国人材の県内就職促進に向け、県内企業における人材コースや就職にあたっての課題等を整理するため、県内企業、県内大学の留学生等を対象としたアンケート調査を実施しました。

外国人介護人材の適切な受入に向け、各制度の説明とともに、受入に必要な準備や支援内容等について最新情報を伝えるため、外国人介護人材を受け入れる介護施設等に対するセミナーを実施しました。

3. 次年度に向けた課題の明確化

2. 働き方改革の推進と就業支援

- (9) 奈良県版働き方改革、職場環境改善、職業能力開発
- (10) 県内就業支援・離職者再就職支援
- (11) 障害者雇用対策の推進
- (12) 外国人労働者県内定着対策

<奈良県の持っている強み>

- 1 県内企業では内需主導型企業が多いため、景気変動の影響に雇用が左右されにくい
- 2 大学進学率が高く、専門的な知識を持った人材が多い
- 3 障害者雇用率が全国1位
- 4 全国都道府県に先駆けて「奈良県更生支援の推進に関する条例」を制定し、出所者更生に向けた財団法人を設立
- 5 県庁版ハローワークにおいて、求人企業と求職者のきめ細かなマッチングを実施

<奈良県の抱えている弱み>

- 6 大阪の通勤圏内にあり、給与水準も大阪に比べ低い
- 7 女性の就業率が全国最下位であり、また男性も全国ワースト3位と低位にある
- 8 魅力的な県内企業があるものの、県外就業率が全国2位の高さにある
- 9 工業系大学がないことから、技術的な人材を確保することが困難
- 10 小規模零細企業が多いため、景気動向が雇用直接影响到りにくい
- 11 高校生の就職内定率が、全国平均より低い

<奈良県への追い風>

- a 交通アクセスの向上による企業誘致の促進・雇用の場の創出が期待される
- b 仕事と家庭の両立が出来る職場づくりへの社会的気運の高まりや国における働き方改革の推進、女性の活躍を促進する社会的気運の高まり
- c 採用を行う企業にとって即戦力となる人材確保のニーズが高い
- d 障害者法定雇用率引き上げに伴う障害者雇用の受け皿の拡大
- e 刑務所出所者等の雇用に関する社会的理解が少しずつ広まりつつある
- f 国における新たな在留資格の創設による外国人材の受入拡大

<奈良県への向かい風>

- g 景気回復が中小企業にまで及んでいない
- h 若年者の職業人としての意識が低い
- i 中途退学・卒業による情報提供機会の減少

<<強みで追い風を活かす課題>>

- [重要課題]** 県内企業における障害者の更なる雇用促進と職場定着に向けた支援(3,d)
- ・出所者等の更生に向けた就労促進(4,e)
- [重要課題]** 再就職を考える離職者等の県内企業への再就職支援(5,c)

<<強みで向かい風を克服する課題>>

- ・新たな仕事の創出(起業支援)(2,g)
- [重要課題]** 県庁版ハローワーク等における若年無業者への就労支援(1,5,h,i)

<<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>>

- ・新卒学生等若年者の県内就業支援(8,9,10,11,a)
- [重要課題]** 県内企業における高度外国人材の受入促進(9,c,f)
- [重要課題]** ワークライフバランスの実現と就業環境の改善(6,7,b)
- ・企業立地の促進による雇用の場の創出(6,a)

<<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>>

- ・公共職業訓練受講者の起業も含めた就職率の向上(10,h)
- [重要課題]** 高等技術専門校の訓練科について、企業ニーズを的確にとらえた見直しの継続(10,h)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
県内企業における障害者の更なる雇用促進と職場定着に向けた支援(テーマ(11))	障害者雇用率全国1位を維持できるよう、障害者はたらく応援団ならの連携をさらに強化し、今後複雑化する雇用にかかる課題に取り組むとともに、きめ細かな支援により職場定着を促進します。
再就職を考える離職者等の県内企業への再就職支援(テーマ(10))	高度な専門技術を持つ人材について、奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、奈良県立大学の卒業生を対象とした再就職支援や人材ニーズの掘り起こし、県内企業とのマッチング等により引き続き取り組んでいきます。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
県内企業における高度外国人材の受入促進(テーマ(12))	高度外国人材の人材確保を目的とした取組はこれまでありませんでしたが、県内企業を対象とした外国人活用セミナー、県内大学の留学生等を対象とした県内企業合同説明会を開催し、高度外国人材の県内就労を促進していきます。
ワークライフバランスの実現と就業環境の改善(テーマ(9))	働きやすい職場には、働き手が集まるという基本認識を経営者の方々に広めるとともに、各事業所の取組に対し、これまでに引き続き、社会保険労務士等の専門家派遣によるコンサルティングや、社内人材育成のためのワークショップ開催等の支援を実施します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
県庁版ハローワーク等における若年無業者への就労支援(テーマ(10))	就職決定までに、時間を要する求職者に対して、県庁版ハローワークの就業相談員やマッチングアドバイザーによる情報提供や職業人としての意識の醸成などきめ細かな支援を実施していくことで、県内就職に繋いでいきます。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
高等技術専門校の訓練科について、企業ニーズを的確にとらえた見直しの継続(テーマ(10))	県内企業の人材ニーズや求職者のキャリア形成ニーズを踏まえ、高等技術専門校における訓練内容・就職支援を見直します。